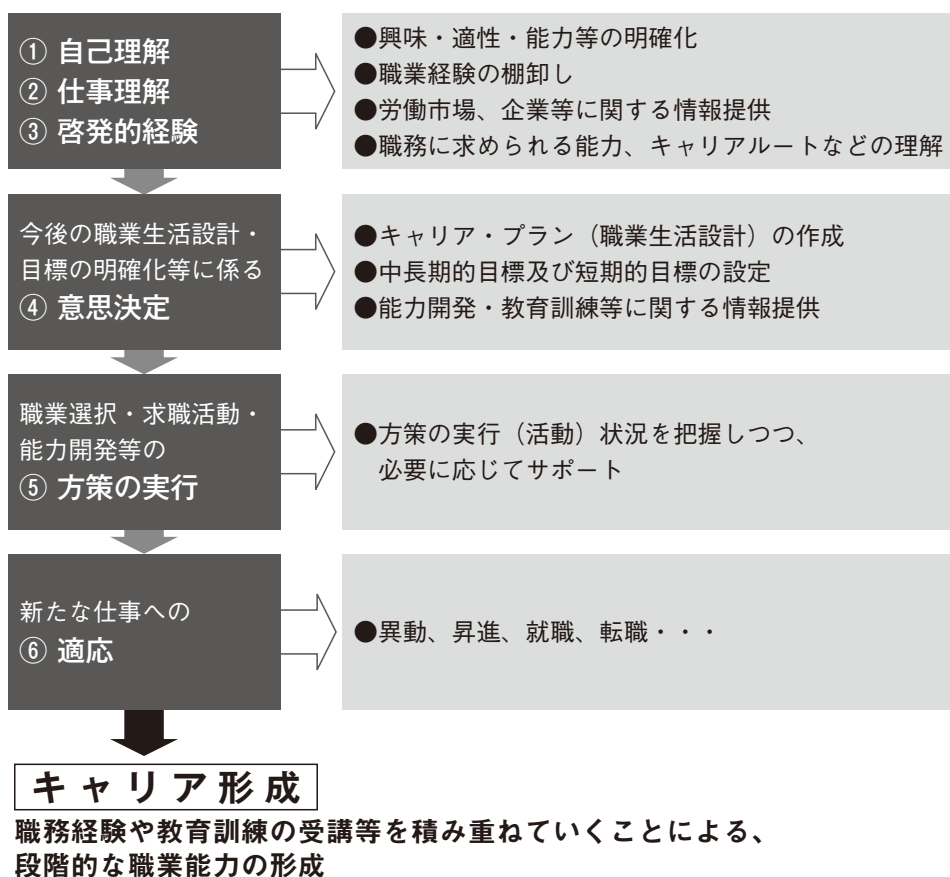


【資料】 キャリアコンサルティングの流れ



(資料出所：厚生労働省「キャリアコンサルティングの流れ」)

(2) キャリアコンサルティングの特徴

- ・キャリアコンサルティングにおいても、キャリアコンサルタントとクライアントとの間に「暖かい人間関係」がなければ、コンサルティングは成立しない。その点では、感情を重視する。
- ・しかし、キャリアコンサルティングにおいては、来談者との間に「質の高い人間関係」が成立し、来談者が「良い心の状態になった」だけでは問題は解決しない。「就職する」「自分の適職を見つける」などの具体的目標を達成しなければ、一般的にはコンサルティングは終わらない。
- ・キャリアコンサルティングが折衷的アプローチをとるのは、キャリアに関するコンサルティングとして、それ自体正当なことであり、目的と現実に適っているからである。
- ・キャリアコンサルティングと言えども、カウンセリングである以上、コンサルタントとクライアントとの間に真の意味のカウンセリング関係が成立しなければ、コンサルティングそのものが成り立たない。

(3) キャリアコンサルティングのアプローチ（包括的・折衷的アプローチ）とキャリアコンサルタントに必要な基本的態度・技能

- ・キャリアコンサルティングもカウンセリングの1分野である以上、その原理・原則やキャリアコンサルタントに必要とされる基本的な態度、技能などは、一般のカウンセリングと同じである。具体的には、
- ① キャリアコンサルティングに不可欠なものは「温かい信頼に満ちた人間関係」である。
 - ② キャリアコンサルタントは、受容、共感的理解、自己一致などの基本的態度を身につけなければならない。